



■各部会の活動計画  
 ■三国節のれん制作  
 ■まちづくり協議会総会

三国節を織り込んだのれん

編集 みくに地区まちづくり協議会  
 事務局 三国コミュニティセンター内  
 坂井市三国町神明1丁目4-20 ☎82-6400  
 mikuni-k@mx3.fctv.ne.jp

## 出村北前茶屋一周年感謝祭



出村北前茶屋が一周年を迎え、4月26日(火)、29日(金)に感謝祭を行いました。住民が気軽に集う交流の場としてオープンして1年。観光客も多く訪れ、好評を博しています。感謝祭では音楽ライブや地元野菜の販売、花苗のプレゼント等を行いました。多くの人でにぎわっていました。



令和4年度  
 みくに地区まちづくり協議会総会  
 みくに地区まちづくり協議会の令和3年度総会が、4月20日(水)三国コミュニティセンターで99人(委任状26人)が参加して開かれました。高森会長のあいさつ後、令和3年度事業や収支決算、会計監査の報告があり、承認。引き続き、令和4年度の事業計画案、予算案について説明があり、全会一致で承認されました。続いて新役員が選出され、令和4年度みくに地区まちづくり協議会が新たにスタートしました。

各部会の抱負  
 みくに大好き部会長 山本 達雄  
 三国に関心を持ってもらうことで、三国の持つ素晴らしさに気づくはず。みくにに大好き人間を増やしたい。三国に住みたい人を増やしたいものです。

生活環境部会長 阪下 喜美子  
 「みなさん、ありがたう。この言葉を大切にしながら活動していきます。汐見公園のシバザクラが三国の風景として誇れるようにしたいですね。」

防災・安心部会長 谷口 善隆  
 住民が安心して住めるようなまちづくりを目指したいものです。2年目を迎えます。参加者には防災グッズも。

健康福祉・育成部会長 石丸 博巳  
 いろいろな活動を通じて、人々の笑顔が、健康づくりなどに役立ちたいと思っています。とにかく参加したみなさんの笑顔が一番の励みになります。

けとなり、「ハロウィン」は「コロナ禍の町並に久しぶりに歓声が響き渡りました。住民のいこいの場になる「北前茶屋」もオープン、福祉部門でも成果が上がっていると思います。



みくに地区まちづくり協議会  
 高森 重利 会長

まち協は今年で発足15年を迎えました。この間、住みよい地域を目指していろいろな活動を展開してきました。前年は4つの部会がそれぞれの立場から協議し、「少しでも住民に役立つ活動

## 住民に役立つ活動を

を」との合言葉に事業を行いました。年間を通じて5回あった「防災ミニ教室」は県内でもあまり例がなく、参加者は系統立てて防災の知識を深めることができました。

町内の「歴史散策」や「令和の三国節募集」は古里の良さを見直すきっかけ

りますが、若い人の会員が少ないのも事実です。世代を引き継ぐ若い力をどう育成するかも大きな課題です。本年度も引き続き皆さま方のご協力をお願いいたします。

## 令和4年度 みくに地区まちづくり協議会役員

- |        |        |
|--------|--------|
| 会 長    | 高森 重利  |
| 副会長・会計 | 大崎 央之  |
| 副 会 長  | 倉橋 光一  |
| 副 会 長  | 大和 久米登 |
| 副 会 長  | 加島 英志  |
| 事務局 長  | 佐原 邦男  |
| 事務局 次長 | 谷川 辰夫  |



つづやき  
 今年3年ぶりに開催された三国祭。青山巡行で高張提灯を先導に山車が姿を見せたとき、なんともしえず感動しました。コミセンには三国祭保存振興会の事務局があり、準備のために多くの方が集っていました。地域みなさんの三国祭への熱い思いを目の当たりにしていただけた。今年の山車の巡行に胸が熱くなりました。子どもも、勇壮な山車が怖くて、巡行の山車に出会うたびに大泣きした覚えがあります。もう何十年間も前の話になりますが、笑

## 令和の三国節CDの 頒布を行っています。

昨年、歌詞を募集した令和の三国節がCDになりました。

令和の三国節はいずれも三国を詠った多様な歌詞で三国節に新しい息吹を芽生えさせました。

新しい歌詞に加え唄い継がれてきた三国節も収録されており、三国節の魅力がたっぷり詰まっています。

最優秀作品4点をはじめ入賞作品、三国節保存会による正調三国節、伴奏(カラオケ)も収録されています。

1枚300円で三国コミュニティセンターにて頒布を行っています。



### みくに大好き部会

みくに大好き部会は、三国の魅力再発見し、もっと大好きになるための部会です。①三国の市街地再発見②三国の味を楽しむ③三国の風景募集④三国のおはなし編集⑤ハッピーハロウィン⑥三国節輪踊りの6テーマを柱に活動を進めています。

## 三国の魅力再発見し発信

このほか「三国を発信するため、こんなことをしてみたい」「住民が一体となり楽しみたい」など会員らの意見を踏まえて、新しい企画を考えていく方針です。

今年度は、コロナ禍で中止となっていた神明社の三国節輪踊りを各団体と協力して開く予定です。90年以上続いている輪踊りの100周年を目指し一緒に盛り上げていきましょう。

#### 年間活動計画

- 歴史散策 6月11日(土)
- 神明社輪踊り 9月17日(土)
- ハッピーハロウィン 10月15日(土)



3  
た  
く  
さ  
ん  
の  
人  
が  
参  
加  
し  
た  
部  
会  
の  
活  
動

## シバザクラ植栽に力



### 汐見公園をピンクに染めよう

生活環境部会は年間を通じて汐見公園のシバザクラ植栽に取り組んでいます。

2年前からは高校生、中学生らも含めてたくさんのボランティアにも参加していただき年々、植栽の輪が広がっています。

今年も4月からは毎月1回、部員らが除草作業に取り組んできましたが、雑草との格闘は思いのほか苦戦し作業回数を増やすことも考えています。防草シートを張り11月ごろには植栽を計画しています。シバザクラの「さし芽」や株分けにも挑戦したいと思います。

寒くなってからは例年、好評の「カンタケ栽培」「シイタケの駒打ち」の体験を計画しています。

#### 年間活動計画

- シバザクラ植栽 11月5日(土)
- 汐見公園除草作業 毎月第1土曜日
- カンタケ栽培講習会 11月20日(月)
- シイタケ駒打ち体験 2月13日(月)

### 生活環境部会



3  
月  
に  
三  
国  
北  
小  
児  
童  
と  
一  
緒  
に  
行  
っ  
た  
ピ  
オ  
ラ  
の  
苗  
の  
植  
え  
付  
け

## 津波が三国を襲う 仮想体験



Google(仮想現実空間)を使った津波の疑似体験が5月31日に開かれました。

福井高専が三国の地形を重ねて、7メートルの津波が来襲したら、どのような影響があるかを仮想したものです。Googleをつけた参加者らは約15分間にわたり、津波が襲った町の姿を体験。津波の恐怖を身近に感じながら、高台へのルートを探し避難していました。

#### 年間活動計画

- 防災ミニ教室 6月~2月 年間5回
- 防災倉庫確認 9月

#### ■防災ミニ教室

- 6月12日
- 8月21日
- 10月23日
- 12月4日
- 2月12日
- (いずれも日曜日)

### 防災・安心部会

あらゆる災害に対処するためには、防災関連の情報を蓄え、地域や家族単位で日常的に話し合っておくことが大切です。このような積み重ねが被災した場合、パニックにならずに命を守ることに繋がります。

部会ではこれらの活動の手助けになればと昨年からはシリーズで「防災ミニ教室」を開きました。参加者からはわかりやすい説明で多くのことを学べたと好評でした。部会顧問である竹田周平先生(福井工大教授)からも「シリーズで教室をしているのは県内で唯一」と高評価をいただいています。

## 5回シリーズ 防災教室

参加者からは「災害の知識を基礎から得られた」「これからも続けてほしい」との声もあり、今年も引き続き年間5回の「ミニ教室」を計画していますので、気軽に参加してください。



「防災ミニ教室」の日程は左記のとおり。詳しいテーマや会場は「COM+」でお知らせします

健康福祉・育成部会では、健康と育成をキーワードに、地域の皆さんがふれあい、少しでも楽しんでいただけるよう、子どもからお年寄りの方まで気軽に参加できる軽スポーツや福祉、交流活動に取り組んでいます。



令和4年度の活動計画は、次のとおりです。市民の方はどなたでも参加できますので、ふるってご参加ください。

#### 年間活動計画

- ディスクゴルフのつどい 10月30日(日)
- まちなかサロン 毎週水・木曜日 13:00から15:00
- 出村北前茶屋 毎週火・金曜日 10:00から15:00
- 食育事業 未定
- 三世代交流事業 未定

食育事業の一環として、三国北小学校で行われたサツマイモのケーキ作り

### 健康福祉・育成部会



## 地引網体験 7月10日(日)開催

昨年はコロナ感染に配慮して中止となりましたが、今年はコロナ感染対策を講じて、7月10日(日)に浜地海水浴場にて開催します。親子で、友達同士で、お一人様でも参加できますので、多くの方の参加をお待ちしています。

詳細は、6月9日(木)配布の「COM+6月臨時号にて」でお知らせします。

## ふれあい・体力づくり・食育